

中原消防団 広報誌

第 2 号
発行 平成 18 年 7 月
題字 中 田 隆

翔太



第 35 回中原消防団消防大会開催

市大会 (9月) 丸子分団 出場 目指せ！ ワンツーニッショ!!

平成 18 年 6 月 11 日 (日) 第 35 回中原消防団消防大会が等々力公園催し物広場に於いて小雨降る中で開催され、内藤団長以下二四五名の団員が集結し、消防団員の意識高揚と平素より訓練した消防技術を操法競技 (小型ポンプ操法) の部、一般競技の部に分かれ災害に適応する競技として中原消防団五分団が対抗戦で行いました。

小型ポンプ操法の部 丸子分団 16 年ぶりの優勝



● 喜びの声 ●

見事、勝利を手にした丸子分団の選手皆さんの喜びや感謝の声を紹介します。

指揮者 井上 衛班長
ほっとした気持ちとよったという思いが浮かびました。指導、協力いただいた稲見分団長、佐藤指導部長、そして丸子分団の皆さんに感謝しつつ、選手四名心を合わせ市大会にむけ頑張ります。

一番員 畑 昭仁団員
皆様のサポートのおかげで、悪天候のなか優勝することが出来ました。OB や町内会の方々から「おめでとう」と声をかけられ、自分自身は勿論のこと、周りの人達も喜んでいただけてとても嬉しく思います。中原大会では反省する点もあり、せっかくの市大会出場の良い機会、精一杯努力するつもりです。

各団体表彰

- 川崎北ロータリークラブ会長賞
- 小型ポンプ操法優勝 丸子分団
- 中原防火協会会長賞
- 総合優勝 大戸分団
- 中原消防団 OB 協会会長賞
- 総合優勝 大戸分団
- 小隊訓練競技優勝 大戸分団
- セレサ川崎農業協同組合会長賞
- 一般競技優勝 住吉分団



一番員 藤枝康利班長
操作始め「ヨシ！」という言葉から、22 秒後エンジン始動、その後の送水までがスローモーションで動いているように感じました。今回の競技を振り返って操法とはある意味「双方」(お互い)を思いながら競技するのだなと思いました。今後とも今日のこの日を忘れずに又、初心にかえって消防活動に専念していきたいと思えます。

小型ポンプ操法とは

指揮者以下四人で編成。小型動力ポンプを用い、一本約 20 m のホース三本を延長し放水、標的(火点)を倒すまでと、使用したホースなどを収納するまでのタイムや技術の確実性、安全性等を競うものです。

大会成績	
小型ポンプ操法の部	
優勝	丸子分団
準優勝	大戸分団
三位	住吉分団
一般競技の部	
優勝	住吉分団
準優勝	大戸分団
三位	中原分団
総合優勝	
大戸分団	

第35回消防大会開催にあたって

中原消防団 団長 内藤 雅 光



第35回消防大会を開催いたしましたところ、悪天候の中、多数の御来賓の皆様方の御臨席を賜り、盛大に挙行できましたことに厚く御礼申し上げます。
各団員は、生業の傍ら、連日連夜にわたる訓練を重ね、本大会においてその成果を十分に発揮できたものと確信しております。

各競技において優秀な成績を修められた選手には心からお喜びを申し上げますとともに、出場選手並びに選手を陰となり支えてくれた同僚団員や御家族の皆様の長期間にわたる御労苦に対し、深く感謝申し上げます。
私ども消防団員は、区民の生命と財産を守るため、更に精進して行く所存でありますので、今後とも地域の皆様の変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防団消防大会講評

中原消防署 署長 原 光 男



第35回消防大会に出場された、消防団員の皆様の長期間にわたる厳しい訓練に心から敬意を表しますとともに、訓練を陰で支えてこられた同僚の団員とご家族の皆様に感謝申し上げます。雨中の大会でありましたが、

各競技に出場された団員の皆様は、これまでの訓練成果を十二分に発揮され、極めて良好でありました。
今後とも郷土の安全・安心を確保するため、更なる防災力の向上にご精進をお願いいたします。



「一般競技の部」ホース延長・伝令・収納

三名一組でホース二本を延長し、放水開始の伝令とホース収納までを正確かつ迅速に行う競技。

- 第一位 住吉分団 木村浩一 団員
- 第二位 前田則和 班長
- 第三位 深谷賢司 団員



「一般競技の部」応急救護

災害現場において、ケガ人が発生した時に、応急手当を行い簡易担架により搬送する競技。
大会では、頭部及びびす首を負傷したという想定で、三角巾を使い応急手当を行います。

- 第一位 大戸分団 内田 実 団員
- 第二位 工藤由美雄 団員
- 第三位 齊藤定一 団員



左：水野団員 右：松川団員

「一般競技の部」防災衣着衣

災害発生時に団員が防火衣を着装していち早く現場へ到着するために行う競技。

- 第一位 住吉分団 福岡秀雄 団員
- 第二位 大戸分団
- 第三位 中原分団



「初めての消防大会」
丸子分団 松川正二郎 団員
私も第35回消防大会に初めて団員としてホース延長競技の収納に出場いたしました。長きに渡る訓練では規律と節度を重んじる中原消防団の精神を諸先輩方よりご指導頂くことができ感謝をいたしております。今後とも火災を始めとする災害から地域住民の生命、財産を守るため、郷土愛の精神を持って、不測の事態にも冷静沈着且つ迅速に活動ができるよう訓練に邁進して参りたいと思います。

(福岡)

審査長講評

第 35 回中原消防団消防大会 審査長 原 修一



今回は、あいにくの雨の中で大会でしたが、各分団員が日頃の訓練成果を発揮出来たのが、なによりでした。

大会は、あくまでも、私共消防団の日頃の訓練の延

選手宣誓

中原分団 三堀 武班長

今年の選手宣誓をやらせていただいて、とてもいい



長であり、大会結果はついてくるもので、区民の皆様方には、日頃から皆様方の安全を守るため、厳しい訓練を積み重ねていることを、ご理解いただけたと思います。安全を確保しつつ、正しい消防技術が出来ているのか、私共消防団幹部自ら審査員をつとめ、35 回の大会が続いております。

経験ができたと思います。予行練習のときは、かなりごちなかったのですが、予行練習のあと、本団の原副団長と大谷副団長にご指導いただいたことで、緊張することもなく、自信をもって行うことができました。

防はすべいい指導者の指導が重要だと、つくづく実感しました。この経験を来年予定されている小型ポンプ操法の指揮者でいかなることができたかと思っています。

一般競技の部 小隊訓練

指揮者以下 25 名編成により約百メートルを進行する間に、指揮者が方向転換及び隊形変換を取り入れた小隊訓練を行い、指揮者と部隊行動の規律等を審査する競技。



優勝 大戸分団

「指揮者として」

大戸分団 志村時治班長

消防大会は梅雨時の六月に開催されるため雨天の大会が多くなります。

今年、第 35 回大会は雨天の中で大会となりました。グラウンドの状態は極めて悪く、その状況の中で小隊訓練の指揮者として二十四名の隊員とともに、競技に臨み、日頃の訓練で培った成果を発揮し、その結果、優勝を成し遂げました。

この大会の訓練では的確な号令と指揮位置並びに号令の音量と歯切れよさを常に意識しました。

これもひとえに、分団長を始め指導員並びに諸先輩のご指導そして隊員とのチームプレーの賜ものと感謝します。

今後は、この経験を活して消防団活動に精進し、地域の安全に努めます。



応援の皆さん ありがとうございました



右..猪股あやかさん
中..鹿島けいやくん
左..猪股 ななさん



消防大会を終えて

玉川分団

あの悪コンディションの中、操法はじめ各競技、終ってみれば番狂わせもなく順当な結果であった。優勝分団は質量ともに厳しい訓練の賜物であり、素直におめでとう、と称えたい。

わが分団も、五ヶ月に及ぶ訓練をやってきたと云う自信もあったし、降りしきる雨とぬかるみは悪夢の再来か?という不安もあったが...。敗因は反省会で全

全分団を応援してくださった
下沼部婦人消防隊の皆さん



挿絵:玉川分団
横山哲夫部長

団員が共有し、来年への課題として残された。

ここ数ヶ月、夜間訓練で一日四食と生活パターンまで変わってしまったが、これから解放され、また怪我や大失態もなく、無事終わってホッとしているところである。しかし残念!無念!!

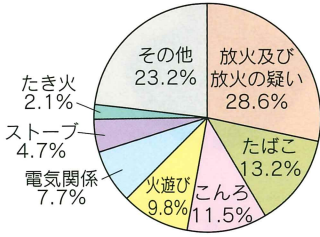
玉川分団の成績

- 操法競技の部・第五位
- 一般競技の部・第四位

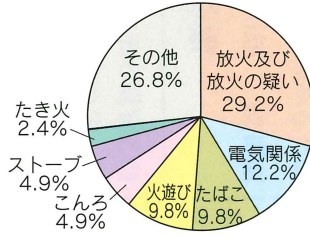
ガンバレ!玉川分団

平成18年 上半期 火災原因

市内火災件数 234件
(昨年同期比 -19)



中原区火災件数 41件
(昨年同期比 +1)



女性団員



応急手当普及員資格取得

住宅防火のちを守る

7つのポイント

- 1. 寝たばこは絶対やめる
- 2. ストープは燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- 3. ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4. 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する
- 5. 寝具や衣類などは、防災製品を使用する
- 6. 火災を小さいうちに消火するために、住宅用消火器を備える
- 7. お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協体制を作る



内藤団長 会場受付にて

川崎市消防団チャリティゴルフ大会 中原消防団 優勝・個人の部優勝と三位

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 松川正二郎 | 丸子分団 | 原和弘 | 中原分団 |
| 関弘子 | 大戸分団 | 土屋昌平 | 住吉分団 |
| 女屋敏 | 住吉分団 | 女屋剛 | 住吉分団 |
| 横堀真琴 | 住吉分団 | 長島秀成 | 大戸分団 |

新入団員

頑張ってください(入団順)

私たち中原女性消防団員は平成18年7月に中原消防署太田救急係長の指導のもと、応急手当普及員の資格をとりました。これからは市民救命士の育成のお手伝いをさせて頂きます。(大戸分団) 織原勝代・関弘子(住吉分団) 小島幾代・田口真弓・山中ふみ子(丸子分団) 石井克枝・白井京子宜しくおねがい致します。

平成18年4月11日
川崎国際生田緑地
ゴルフ場

優勝 鈴木 照明 (住吉分団)
準優勝 大久保明男 (宮前分団)
三位 内藤 恭正 (大戸分団)

団体優勝 中原消防団



モデル/鹿島秀樹、田口真弓(広報委員)

平成18年4月から 消防団員新ユニフォーム



県消防協会より
「まどい柱」
植栽整備の感謝状

編集後記

中原消防団広報誌「翔太」第2号をお届けします。発行にあたり、ご協力に深く感謝致します。

発行責任者	内藤 雅光
編集	中原消防団広報部
広報部長	川野 正久
中原分団	寫田 敏行
大戸分団	三堀 武
住吉分団	井上 武
玉川分団	鹿島 秀樹
丸石分団	石井 昭仁



第七回
県消防協会主催美術展
「写真の部」神奈川県知事賞
田邊 文 江様
(丸子分団・田邊部長夫人)